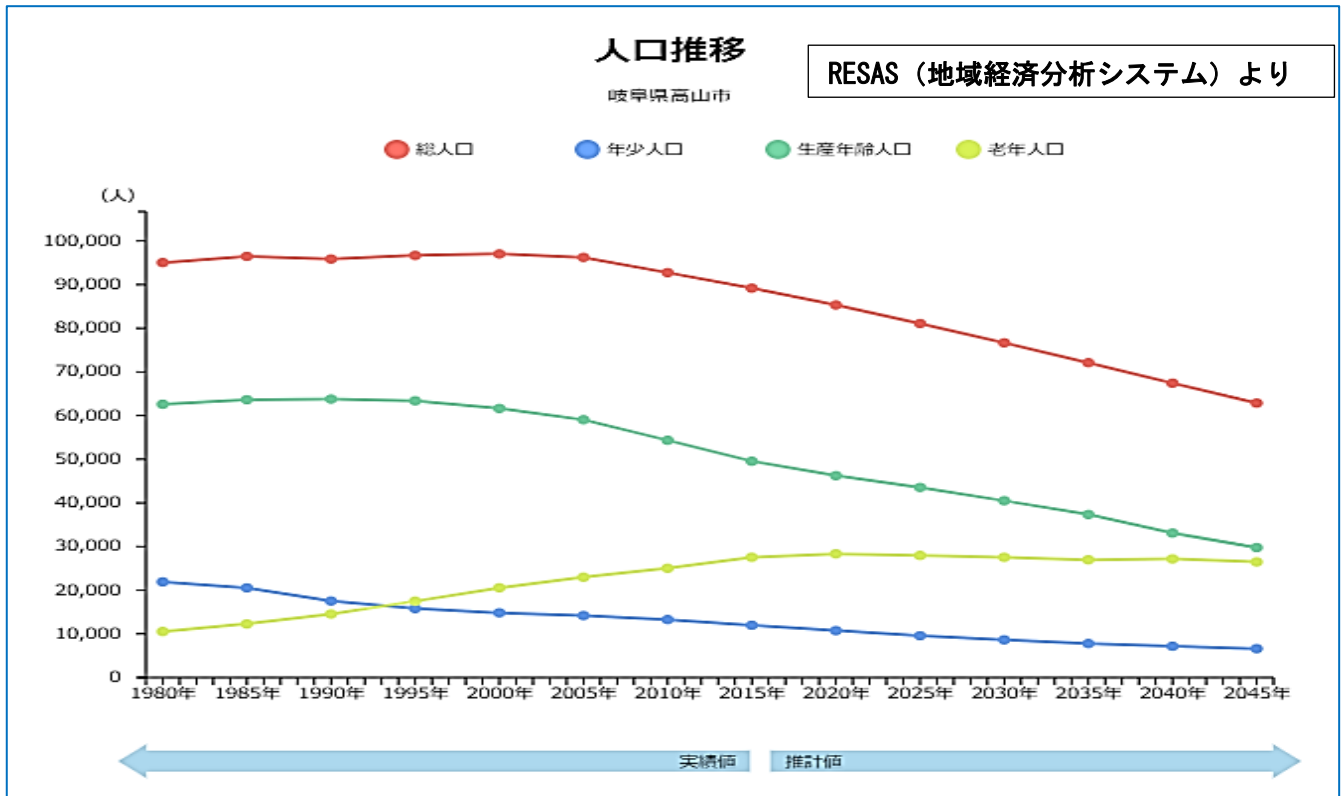


地域経済を考えるためにはまず、「今後地域の人口がどのように変化していくか」を知る必要があります。高山市全体や当商工会管内（久々野、朝日、高根）の人口がどのように変化するか見てみましょう。高山市全体の推移については「RESAS（※）」を、当商工会管内については「高山市第八次総合計画」を活用しています。

（※）地域経済分析システム（RESAS：リーサス）とは
産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供しているものです。



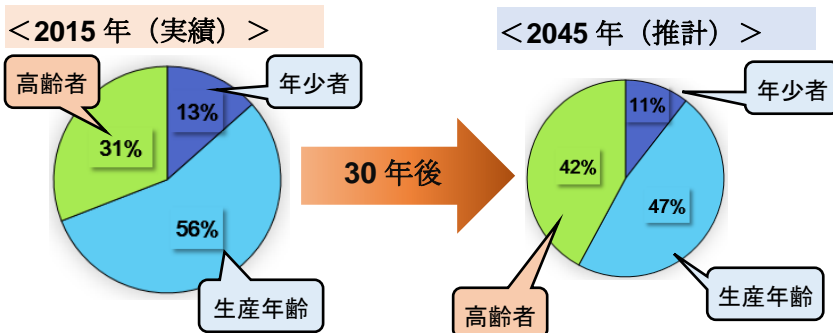
上記折れ線グラフ「人口推移」は高山市全体の人口推移について、2015年までは実績値、それ以降は推計値により示しています。

【高山市の人口比較】では2015年（実績値）と2045年（推計値）をピックアップし、それぞれの年齢別人口構成を円グラフで示しています。

【高山市の人口比較】

	2015年（実績値）		2045年（推計値）	
年少人口（0～14歳）	11,972人	13.4%	6,615人	10.5%
生産年齢人口（15～64歳）	49,548人	55.6%	29,769人	47.3%
高齢者人口（65歳以上）	27,550人	30.9%	26,482人	42.1%
合計	89,070人		62,866人	

【高山市：年齢別人口構成】



★高山市の人口動向

2015年からの30年で人口は30%減少

今から24年後、2045年高山市の総人口は2015年と比較し約30%（2万6千人）減少すると推計されています。

減少する2万6千人の約77%、2万人は生産年齢、約20%、5,400人は年少者で高齢者は若干の減少にとどまります。

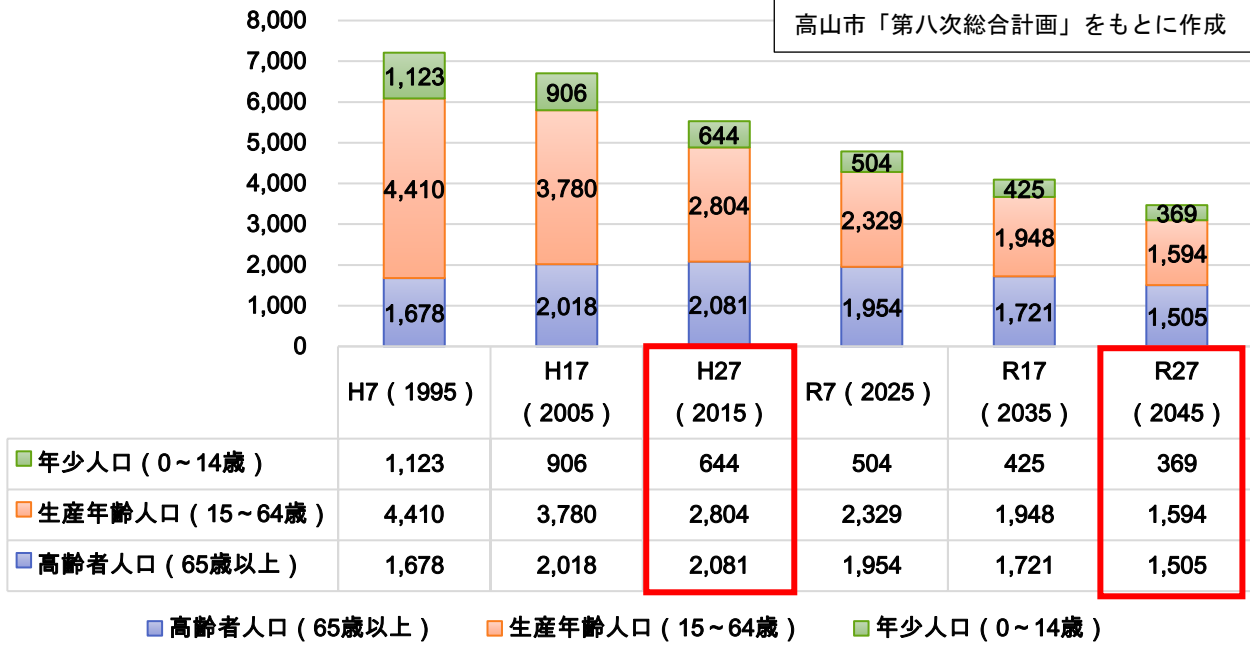
つまり減少するのは子供（年少者）世代と生産年齢（働き盛り）世代で、高齢者数の減少はあまりなく高齢化率は42%にのびます。

次ページでは当商工会管内（久々野、朝日、高根）の状況を見てみましょう。

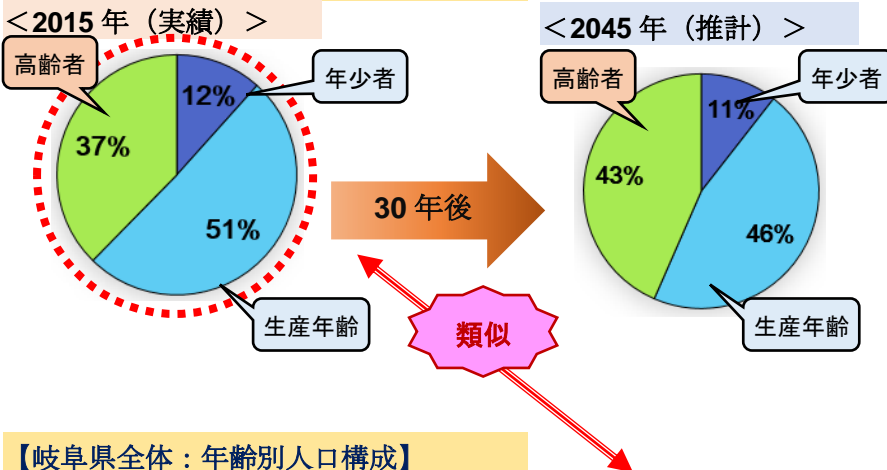
30年後の総人口（62,866人）は2015年（89,070人）の約70%に縮小するため、円グラフのサイズを小さめに表しています。

高山南商工会管内人口推移

高山市「第八次総合計画」をもとに作成



【高山南商工会管内：年齢別人口構成】



★高山南商工会管内の人口動向 超高齢社会の先取りモデル

上グラフでは当商工会管内 1995～2015年 (実績)、2025～2045年 (推計) の人口推移を表しています。生産年齢人口と年少人口の減少が顕著です。

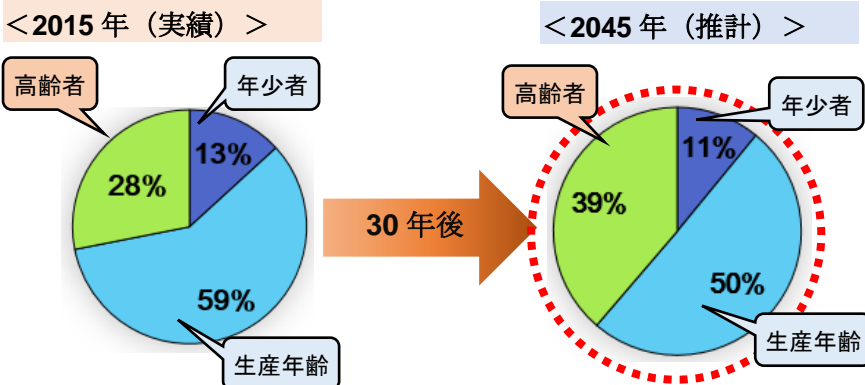
また左円グラフは2015年と2045年当商工会管内および岐阜県全体の年齢別人口構成を表しています。

2015年の高齢化率を見ると、岐阜県28%、高山市全体31% (前頁)、当会管内37%で、当会管内の高齢化率の高さが目立ちます。しかし2045年になると高齢化率の地域差が縮小していきます。

また、当会管内2015年、岐阜県全体の2045年の円グラフ (朱色点線) を比較すると、年齢別人口の構成比がかなり似ていることがわかります。当会管内の高齢化は2045年の県下全体の状況を先取りしているといえそうです。

2045年は人口の4割が高齢者、どのようなビジネスが展開されるでしょう。ぜひイメージしてみてください。

【岐阜県全体：年齢別人口構成】



RESAS では今回活用した人口マップのほか、地域経済循環、企業活動、消費、観光、まちづくり、医療福祉、地方財政等を切り口としたさまざまなデータがあり、グラフなど誰でも活用できます。ぜひ経営にもお役立てください。 RESAS サイト：<https://resas.go.jp/#/21/21201>

本レポートは経済産業大臣の認定を受けた経営発達支援計画に基づき作成・発刊致します。地域の商工業者様が経営に有効活用できる情報を当商工会が収集分析、提案して参ります。掲載内容についての詳細な内容、具体的な経営活用の手法についてご相談がございましたらお気軽にお問合せください。